

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
D201	ゼミナール I / EXゼミ I	2年	演習	4	小浜駿
授業概要 【春学期】 自分の好きなことについて考えながら、研究テーマを設定する。また、研究テーマを数値として測定可能な形式へと変換する技術を身に着ける。 【秋学期】 客観的に測定可能な数値を分析・考察し、研究テーマの魅力と意義を他者に伝える技術を身に着ける。					
到達目標(学習の成果) ・指導教員およびゼミメンバーとディスカッションを行い、自分のやりたいことを伝えられるようになる(DP1) ・他者の研究内容をふまえながら、自分の意見を言えるようになる(DP1) ・個人的な興味が客観的な主張や社会貢献へとつながっていることが理解できる(DP4)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	概要およびスケジュール説明	自己紹介の後、通年のスケジュールや主な作業課題について説明を受ける。			
2	好きなことについて話す(1)	ブレインストーミングを活用しながら、可能な限り多く、好きなことを挙げる。			
3	好きなことについて話す(2)	批判的検証を加えながら、好きなことについて言語化する。			
4	好きなことについて話す(3)	研究の意義について説明を受けたのち、自分の好きなことが日常生活やマーケティングに役立つことを理解する。			
5	プレゼンテーション(1)	好きなこととこれから検討したいことを中心としてプレゼンテーションを行う。			
6	テーマの設定(1)	テーマと研究題目を決定し、検討対象をおおよそ決める。			
7	テーマの設定(2)	検討対象を決定し、どのような概念を扱うかを列記する。			
8	仮説の生成(1)	複数の検討対象がどのような関連を持っているか、自分なりに考え、言語化する。			
9	調査票作成(1)	Microsoft Excel を用いながら、調査項目を中心として調査票を設計する。			
10	調査票作成(2)	教示文や選択肢の内容に留意しながら、調査票を設計する。			
11	統計学講義(1)	調査実施のために最低限必要な記述統計について説明する。			
12	統計学講義(2)	調査実施のために最低限必要な推測統計について説明する。			
13	調査票作成(3)	統計学的な観点をもとに、調査票の内容を検討しなおし、完成させる。			
14	プレゼンテーション(2)	半期で行ってきたことをまとめ、発表する。その後、発表内容についてディスカッションを行う。			
15	プレゼンテーション(3)	前回のディスカッションを踏まえて修正したプレゼンテーションを行う。			
16	仮説の生成(2)	完成した調査票を基に、仮説を確認し、必要に応じて修正する。			
17	データ分析(1)	無効票の判定基準について説明を受けた後、データ入力を行う。			
18	データ分析(2)	単純集計表を作成する。			

19	データ分析(3)	単純集計表の解釈・考察を行う。
20	すみれ祭準備(1)	クロス集計表について説明を受けた後、発表に用いる変数(質問項目)を選択する。
21	すみれ祭準備(2)	クロス集計表を作成し、クロス集計の解釈を行う。
22	すみれ祭準備(3)	プレゼンテーション資料を作成し、発表の練習を行う。
23	プレゼンテーション(4)	これまでに行ってきたことをまとめ、発表する。その後、発表内容についてディスカッションを行う。
24	プレゼンテーション(5)	前回のディスカッションを踏まえて修正したプレゼンテーションを行う。
25	報告書執筆(1)	見出しを中心として、報告書を執筆し始める。また、それぞれの見出しに対して、本文に書くべき内容のメモを作る。
26	報告書執筆(2)	報告書の本文を書く。
27	報告書執筆(3)	添削を受けた後、報告書の仕上げを行う。
28	まちあるき	まちを歩き、自分の研究と日常生活との接点を探る。
29	好きなことについて話す(4)	1年を通じて得た技術や知識、気づきを踏まえて、改めて自分の好きなことについて述べる。
30	テーマの設定(4)	次年度以降の活動を視野に入れながら、テーマの見直しを行う。

準備学修(授業外の自己学修)

頻繁に課題を出し、次回までに行ってくることを求める。調査票の設計、仮説の生成、データ分析など、口頭で聞いただけでは課題内容を理解できない課題も多い。授業中の活動が自己学修のための準備となり、自己学修が次回のゼミ活動の準備となるため、欠席後は必ず連絡すること。

成績評価の方法・基準(%表記)

授業中の活動 40%, 最後のプレゼンテーションの評価を 30%, 報告書の評価を 30%の配分で総合的に評価する

観点	S	A	B	C
授業中の活動	努力と工夫が十分に発揮され、調査内容に反映されている	調査のために必要な努力と工夫が十分にみとれる	調査のために必要な努力と工夫がある程度みとれる	なんらかの努力が伺える
プレゼンテーション	内容に加え、プレゼンテーション技法も十分な水準に達している	わかりやすさに加え、面白いと感じられるプレゼンテーションができています	研究内容が十分に伝わるプレゼンテーションができています	プレゼンテーションとして聴くことができる
報告書	読みやすいことに加え、研究論文として魅力的な内容が含まれている	研究論文の形式を見たし、かつ読みやすい日本語で書かれている	研究論文の形式として成立している	日本語として可読であり、研究テーマが伝わる

教科書・参考書等

使用しない。資料は適宜配布する。

履修上の注意・学修支援

準備学修が多いため、「準備学修(授業外の自己学修)」をよく読んで受講時の心構えを作っておいてほしい。また、不明点があった場合には、メールやオフィスアワーを活用し、積極的に質問してほしい。